



A1 倶楽部

2014.1 新春号

【発行所】

さと栄一
後援会総連合会

〒321-0954

栃木県宇都宮市元今泉5-1-22

TEL.028-662-3300

FAX.028-662-5501

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

持続可能な都市の実現

幸せな街「宇都宮」を目指して

新年あけましておめでとうございます。

早いもので43歳で宇都宮市長になり10年目を迎えることができました。これも偏に皆様方の日頃からのご支援・ご協力の賜物と改めて心より感謝申し上げます。振り返りますと、充実したというよりも無我夢中で悩む暇さえなく全力で走り抜いた10年でありました。

昨年は、台風の影響による記録的な豪雨で各地で被害が発生しました。また、竜巻や突風による被害も生じるなど、異常気象や自然災害への備えの大切さを改めて認識した年でありました。一方、2020年のオリンピック開催地が東京に決まり、日本中が沸きました。また、個人消費の改善や輸出の増勢により、穏やかではあるものの景気も回復傾向になるなど、明るい話題も続きました。

宇都宮市におきましては、課題である超高齢化社会や少子化などによる人口減少に対応する取組として、高齢者が健康寿命を伸ばし、自立した生活ができる環境づくりや、子どもを安心して生み育て、質の高い教育を受けられる環境の充実、更には、LRTの整備やバス路線・地域内交通による「総合的な公共交通ネットワークの構築」などを着実に進めてまいります。

これからも宇都宮市が持続的に発展できるよう、必要な取組には迅速に対応し、市民の皆様が幸せに暮らせるまちづくりを全力で進めてまいりますので、より一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして大きな飛躍の年になりますようお祈りいたします。

宇都宮市長 佐藤栄一

LRT2016年度着工を明言

夢・実現へ再加速

佐藤市長は、昨年11月の定例記者会見で、宇都宮市が導入を目指すLRTについて「2016年度くらいには着工できればと考えている。効果を考えるとスピーディーに対応していきたい」として早期開通に期待を寄せた。今後、国や県・市町、交通事業者などによる法定協議会を設置し、計画区間や実施主体、交通結節点などを盛り込んだ連携計画を策定し、その後、国から計画の認定が得られれば事業へ着手となる。



【LRT導入ルート 参考図】

〈優先区間の概要〉

JR宇都宮駅東口～宇都宮テクノポリスセンター地区 約12 km

- 利用者数 約13,740人/日
- 停留場数 15か所(トランジットセンター5か所)
- 導入車両 10編成
- 運行頻度 ピーク時6本/時
オフピーク時4本/時
- 運賃 100～400円の料金帯で設定
- 所要時間 約31分
- 概算事業費 約260億円(うち、地方負担130億円)
- 収支予測 収入:約6.4億円/年・支出:約6.3億円/年

※宇都宮市総合政策部LRT整備推進室作成資料から

快適な宇都宮をつくる

各地区で交通網充実

JR岡本駅周辺を開発へ 東西自由通路・西口広場を新設

宇都宮市は、JR岡本駅の周辺整備事業計画を昨年の12月20日に策定した。計画は駅舎を橋上化し、東西自由通路を新設。これまで岡本駅は東口のみだったため、西口を新設し、更には東西の広場を整備する。高齢者や障がい者が利用しやすい多機能トイレや、両側にエレベーターと上り専用のエスカレーターを備え、更には、バスやタクシーの乗降場などを設け、歩道の段差をなくし、バリアフリー化を徹底。来年度に着工し、2016年度にはすべての工事が完了する予定。



〈岡本駅東口整備イメージ〉



〈岡本駅西口整備イメージ〉

「地域内交通」運行地区拡大 上河内地区にデマンドタクシー

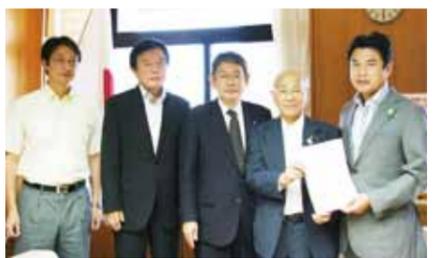


▲運行式で祝辞を述べる佐藤市長

上河内地区でデマンドタクシー「かみかわち愛のりユッピー号」の一年間の試験運行が昨年の10月1日から始まった。上河内地域自治センターで佐藤市長も出席し運行式が行われた。宇都宮市内では10路線目の地域内交通となる。セダン型タクシー2台が利用者の電話予約に応じて、自宅と事前に設定した目的地をドアツードアで結ぶ。目的地は行政施設や医療機関、JR駅などの75カ所。月々土曜日の午前8時から午後5時までの間、1時間間隔で1日10便運行する。利用者は登録が必要で、登録料1世帯年間500円、運賃は1回300円(小学生150円、未就学児無料)。

産業界からLRT推進の要望書

昨年の9月17日に宇都宮商工会議所北村会頭らがLRT推進事業に向けた要望書を佐藤市長に手渡した。要望書にはJR宇都宮駅西側の早期整備やLRTを核に、路線バスやタクシーなど公共交通がつながるまちづくり計画などを求めた。産業界からもLRTに熱いエールが送られている。



▲北村会頭より要望書の提出

LRT芳賀町から延伸要望

芳賀町と同議会から昨年10月23日にLRTを芳賀工業団地まで延伸するよう求める要望書を豊田町長と小林議長が市役所を訪れ佐藤市長と金子議長に手渡した。豊田町長は「LRT導入は渋滞緩和と公共交通の確保が目的で、町民も工業団地も必要としている」などと述べ、佐藤市長からは「芳賀町の事業計画表明を歓迎します。両地域の発展と県全体の公共交通の利便性向上につながるよう町と整備方針を固めていきたい」とコメントした。

LRT検討委員会に8市町も参加

芳賀・宇都宮公共交通検討委員会に鹿沼市・真岡市・市貝町・茂木町・益子町・高根沢町・上三川町・壬生町の8市町がオブザーバーとして参加。



▲市町もLRTに熱い視線

超高齢化社会を迎え、自治体も利便性の高い公共交通の整備を課題としており関心は高い。一部ではLRTを県央地区の東西で横断させてJRや東武鉄道、更には真岡鐵道などにも結節する構想もあり、LRTネットワーク化の可能性も議論される。

大谷地区スマートIC 2020年度完成を目指す

2020年度までに、宇都宮市大谷地区の東北自動車道にスマートインターチェンジの新設を目指す。県道宇都宮今市線(通称大谷街道)との結節点に建設する方針を固めた。市内中心部へのアクセスが向上し、大谷地区などへの観光客呼び込めることが期待できる。佐藤市長は「掲げる公約の中で最優先課題の一つで、スマートICの新設により交通の円滑化や地域振興を図ることが狙い」と語った。



〈大谷スマートICイメージ図〉

佐藤市長のさまざまな活動

北関東初、ハローワーク窓口を市役所内に設置

宇都宮市と栃木労働局が生活困窮者の就労を支援する窓口「みやハローワーク就労支援コーナー」を市役所内に設置した。

生活保護や児童扶養手当などの受給者の求職相談などにワンストップで対応できる。自治体庁舎に常設されるのは北関東では初めてで、全国では35番目になる。佐藤市長と坂本栃木労働局長が市役所で協定書を交わし、佐藤市長は「ハローワークと緊密に連携し、細やかな支援をしていきたい」と話した。



▲市役所で求職相談ができます

全国市長会関東支部長に就任

昨年5月16日に全国市長会関東支部総会が開催され、新支部長に佐藤市長が選出された。総会には119人の市区長らが出席され、佐藤支部長は「新政権の素早いアフレ対策などは見事だが、国が地方公務員の給与削減を求め、地方交付税を削減する関連法案を成立させたことは遺憾。今後、支部として国や関係機関にさまざまな要請をしていく」と語った。



▲全国市長会関東支部総会で挨拶する佐藤支部長

築地でトップセールス

昨年の8月21日の早朝、築地市場で宇都宮産のナシなど農産物のトップセールスを佐藤市長が行った。

J Aうつのみやと宇都宮市が連携し、安全性のアピールなどを目的として、今回が2回目となる。佐藤市長は競りに掛けられる宇都宮産の農産物を前に「築地から全国に向けて宇都宮のおいしさを発信してください」と仲買人に訴えた。



▲東京築地市場で農産物のトップセールス

おいしい果実を求め 東根市へ出荷拡大の要望

佐藤市長は昨年の9月3日に山形県の東根市を訪れ、出荷の拡大を要請した。東根市はサクランボ生産量日本一で、ぶどうやラ・フランス、リンゴなど四季

さまざまな果物が生産されている。佐藤市長は「宇都宮市民・栃木県民の台所を支える宇都宮市中央卸売市場に、おいしく新鮮な果物を出荷してほしい」と要望活動した。



▲おいしい果物を宇都宮へ

活動報告

4月11日	A1 club 総会
6月1日	A1 club ゴルフコンペ
9月20日	さとう栄一後援会総連合会・役員懇談会
11月9日	さとう栄一後援会総連合会 ゴルフコンペ
11月30日	さとう栄一市長を囲む女性の集い

熱く燃えた夏の参議院選挙 県内の各市町で完全勝利



▲宇都宮後援会長として大勝利

昨夏、行われました参議院選挙において、県内の首長有志からの要請を受け、自民党公認候補として立候補された高橋克法さんが当選されました。県内の大半の首長が後援会長となり、各市町において圧倒的な得票での当選となりました。今後も県内首長の代表としてご活躍を期待しております。

恒例の「女性の集い」盛大に開催



▲女性の前だと演説に熱が入ってしまいます

昨年の11月30日に「さとう栄一市長を囲む女性の集い」を開催しました。今回で9回目を迎え、37名を超える方々にご参加をいただきました。アトラクションでは、その日一番の盛り上がりを見せ、参加者の歓声が幾度となく響きわたりました。